



平成24年 2 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年 1 月10日

上場会社名 株式会社薬王堂 上場取引所 大
コード番号 3385 URL <http://www.yakuodo.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）西郷辰弘
問合せ先責任者（役職名）財務部長（氏名）小笠原康浩 TEL 019-697-8480
四半期報告書提出予定日 平成24年 1 月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年 2 月期第 3 四半期の連結業績（平成23年 3 月 1 日～平成23年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年 2 月期第 3 四半期	34,232	7.9	1,798	135.2	1,897	124.4	540	12.9
23年 2 月期第 3 四半期	31,723	6.2	764	22.4	845	24.6	478	22.0

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年 2 月期第 3 四半期	18,956 94	— —
23年 2 月期第 3 四半期	16,785 96	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
24年 2 月期第 3 四半期	19,952	6,880	34.5	241,142 68
23年 2 月期	17,847	6,434	36.1	225,502 19

（参考）自己資本 24年 2 月期第 3 四半期 6,880百万円 23年 2 月期 6,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年 2 月期	— —	0 00	— —	3,300 00	3,300 00
24年 2 月期	— —	0 00	— —		
24年 2 月期(予想)				40 00	40 00

（注）当四半期における配当予想の修正有無 : 有

当社は、平成24年 1 月 4 日付で普通株式 1 株につき100株の割合で株式分割を実施しておりますので、今期の配当予想につきましては分割後の株式数を基に算出しております。

3. 平成24年 2 月期の連結業績予想（平成23年 3 月 1 日～平成24年 2 月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	45,280	7.4	2,006	95.0	2,115	86.9	528 △8.6	185 04

（注）当四半期における業績予想の修正有無 : 無

当社は、平成24年 1 月 4 日付で普通株式 1 株につき100株の割合で株式分割を実施しておりますので、業績予想の 1 株当たり当期純利益につきましては分割後の株式数を基に算出しております。

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 5「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年2月期3Q	30,012株	23年2月期	30,012株
24年2月期3Q	1,478株	23年2月期	1,478株
24年2月期3Q	28,534株	23年2月期3Q	28,534株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・当社は、平成24年1月4日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しておりますので、配当の状況における平成24年2月期（予想）の1株当たり配当金及び平成24年2月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、分割後の株式数を基に算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 仕入及び販売の状況	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響が続く中、欧州の財政金融不安や円高の長期化等により、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループの営業基盤であります東北地方においては、復旧、復興関連需要により、震災前を上回る水準で持ち直しの動きが見られるものの、依然として雇用、所得環境が改善されない中、厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況のなか、当社グループでは震災の影響により休止していた11店舗のうち3店舗の営業を再開するとともに、ドラッグストアを岩手県に3店舗、宮城県に4店舗を新規出店し、岩手県に調剤専門薬局を1店舗開局したほか、岩手県のドラッグストア1店舗を「薬王堂100円ショップ」として業態変更し営業を行っております。なお、震災で休止中の2店舗については退店を決定しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は129店舗（うち調剤併設型4店舗、調剤専門薬局1店舗）となりました。また、岩手県陸前高田市、山田町、大槌町、宮城県南三陸町、気仙沼市の5市町村においては仮設店舗による営業を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、日常生活に密着した品揃え強化や改装等の店舗活性化に努めた結果、食料品や日用品、衣料品等が好調に推移し、売上高は前年同四半期に対して増収となりました。経費面では、従前からの経費削減活動のほか、節電の取り組みの継続による水道光熱費の削減等により一般管理費が減少しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は342億3千2百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益17億9千8百万円（前年同四半期比135.2%増）、経常利益18億9千7百万円（前年同四半期比124.4%増）、四半期純利益5億4千万円（前年同四半期比12.9%増）となりました。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

① ヘルスケア部門

医薬品は感冒薬、ドリンク剤、皮膚病薬、花粉症関連商品が伸張し、衛生用品ではマスク、紙おむつ、生理用品等が伸張いたしました。調剤につきましても、今春は花粉症患者が増加したことにより堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比3.9%増加し97億7千5百万円となりました。

② ビューティケア部門

化粧品はメイク、男性化粧品、化粧小物が伸張し、トイレタリーではオーラルケア、ヘアカラー、スキンケア商品が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比3.9%増加し68億3百万円となりました。

③ ホームケア部門

日用品は衣料用洗剤、芳香剤、台所用品、バス・トイレ関連商品が伸張し、衣料品では肌着、靴下、服飾商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比14.6%増加し42億5千4百万円となりました。

④ コンビニエンスケア部門

食品では菓子、飲料、加工食品、日配商品が伸張いたしました。酒類ではビール、リキュール、発泡酒、焼酎等が伸張し、バラエティ部門においてはペット関連商品、電池、殺虫剤やカイロ等の季節商品が伸張いたしました。この結果、売上高は前年同四半期比11.2%増加し133億9千8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 貸借対照表の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、100億5千9百万円（前連結会計年度末80億2千6百万円）となり、20億3千2百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、現金及び預金が20億4千6百万円増加したことがあげられます。

固定資産は、98億9千2百万円（前連結会計年度末98億2千1百万円）となり、7千1百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規出店に伴い建物等の有形固定資産が1億1千2百万円増加したことがあげられます。

流動負債は、98億1千1百万円（前連結会計年度末85億9千8百万円）となり、12億1千3百万円の増加となりました。主な増減要因といたしましては、短期借入金が10億円減少したものの、仕入高の増加に伴い買掛金が13億8千5百万円増加したことや未払金等その他で6億5千1百万円増加したことがあげられます。

固定負債は、32億5千9百万円（前連結会計年度末28億1千4百万円）となり、4億4千4百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規借入れにより長期借入金が1億6千8百万円増加したことや資産除去債務を3億1千7百万円計上したことがあげられます。

純資産合計は、68億8千万円（前連結会計年度末64億3千4百万円）となり、4億4千6百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、利益剰余金の増加があげられます。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の増加が37億6千6百万円、投資活動による資金の減少が7億6千4百万円、財務活動による資金の減少が9億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億4千1百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には27億4千7百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、37億6千6百万円（前年同四半期比249.7%増）となりました。これは税金等調整前四半期純利益が9億8千5百万円となったことや仕入債務の増加額が16億4千3百万円となったこと、災害損失を8億4千6百万円計上したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、7億6千4百万円（前年同四半期比11.1%減）となりました。これは新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が7億3百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、9億5千9百万円（前年同四半期比257.8%増）となりました。これは長期借入れによる収入が16億円あったものの、短期借入金の減少額が10億円あったほか、長期借入金の返済による支出が14億2千5百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月3日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました平成24年2月期の通期連結業績予想を修正いたしております。詳細につきましては、平成23年12月22日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判定に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(「資産除去債務に関する会計基準」等の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ14,528千円減少し、税金等調整前四半期純利益は125,228千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は317,970千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,753,352	706,900
売掛金	139,472	112,465
商品	6,428,250	6,546,047
貯蔵品	6,428	7,279
その他	731,982	653,847
貸倒引当金	△150	△150
流動資産合計	10,059,336	8,026,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,998,479	4,909,065
土地	686,380	720,680
その他（純額）	423,229	366,323
有形固定資産合計	6,108,088	5,996,069
無形固定資産	83,072	99,184
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,730,563	2,817,022
その他	992,119	908,834
貸倒引当金	△21,080	—
投資その他の資産合計	3,701,603	3,725,856
固定資産合計	9,892,764	9,821,110
資産合計	19,952,100	17,847,500
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,979,936	4,594,585
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,672,920	1,666,380
未払法人税等	625,000	319,000
賞与引当金	129,688	259,783
店舗閉鎖損失引当金	—	10,000
ポイント引当金	21,809	17,716
その他	1,382,478	730,633
流動負債合計	9,811,831	8,598,098
固定負債		
長期借入金	2,552,354	2,384,134
退職給付引当金	84,234	76,074
資産除去債務	317,970	—
その他	304,944	354,713
固定負債合計	3,259,503	2,814,922
負債合計	13,071,335	11,413,020

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	799,300	799,300
資本剰余金	840,728	840,728
利益剰余金	5,320,213	4,873,458
自己株式	△78,687	△78,687
株主資本合計	6,881,554	6,434,799
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△789	△319
評価・換算差額等合計	△789	△319
純資産合計	6,880,765	6,434,479
負債純資産合計	19,952,100	17,847,500

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	31,723,996	34,232,058
売上原価	24,130,652	26,045,746
売上総利益	7,593,343	8,186,312
販売費及び一般管理費	6,828,782	6,387,728
営業利益	764,561	1,798,583
営業外収益		
受取利息	24,550	16,497
受取配当金	94	94
受取事務手数料	45,153	50,009
固定資産受贈益	18,576	12,688
受取手数料	21,937	23,631
その他	23,634	38,991
営業外収益合計	133,946	141,912
営業外費用		
支払利息	50,816	41,297
その他	1,977	1,504
営業外費用合計	52,793	42,802
経常利益	845,714	1,897,693
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	10,000
災害見舞金	—	39,745
特別利益合計	—	49,745
特別損失		
固定資産売却損	4,002	—
固定資産除却損	—	3,133
賃貸借契約解約損	10,000	2,500
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	110,700
災害による損失	—	846,045
その他	1,351	—
特別損失合計	15,354	962,379
税金等調整前四半期純利益	830,360	985,058
法人税、住民税及び事業税	328,800	605,427
法人税等調整額	22,589	△161,286
法人税等合計	351,389	444,140
少数株主損益調整前四半期純利益	—	540,917
四半期純利益	478,970	540,917

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	10,390,115	11,050,517
売上原価	7,860,656	8,386,599
売上総利益	2,529,458	2,663,918
販売費及び一般管理費	2,289,582	2,204,118
営業利益	239,876	459,799
営業外収益		
受取利息	8,434	1,186
受取配当金	20	20
受取事務手数料	15,176	16,182
固定資産受贈益	5,262	9,235
受取手数料	8,440	8,424
その他	7,263	11,671
営業外収益合計	44,596	46,719
営業外費用		
支払利息	15,943	11,931
その他	643	527
営業外費用合計	16,586	12,459
経常利益	267,886	494,059
特別利益		
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	10,000
災害見舞金	—	100
特別利益合計	—	10,100
特別損失		
投資有価証券評価損	11	—
災害による損失	—	16,859
特別損失合計	11	16,859
税金等調整前四半期純利益	267,875	487,300
法人税、住民税及び事業税	36,754	305,368
法人税等調整額	76,373	△64,140
法人税等合計	113,128	241,227
少数株主損益調整前四半期純利益	—	246,073
四半期純利益	154,747	246,073

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	830,360	985,058
減価償却費	443,756	458,132
災害損失	—	846,045
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△35,837	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△93,894	△130,095
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△10,000
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2,687	4,093
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	7,556	8,159
受取利息及び受取配当金	△24,644	△16,591
支払利息	50,816	41,297
固定資産受贈益	△18,576	△12,688
固定資産除売却損益 (△は益)	4,002	3,133
賃貸借契約解約損	10,000	2,500
売上債権の増減額 (△は増加)	△23,333	△27,014
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,037,104	△308,497
未収入金の増減額 (△は増加)	△38,778	△2,660
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,162,401	1,643,794
未払金の増減額 (△は減少)	279,902	270,225
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△113,042	212,120
その他	187,869	304,865
小計	1,594,140	4,271,881
利息及び配当金の受取額	252	311
利息の支払額	△50,016	△40,462
災害損失の支払額	—	△160,890
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△467,467	△304,777
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,076,910	3,766,062
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,500	△4,500
有形固定資産の取得による支出	△580,643	△703,083
敷金及び保証金の差入による支出	△230,404	△86,604
その他	△43,779	30,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	△859,327	△764,113
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	△1,000,000
長期借入れによる収入	1,000,000	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△1,342,692	△1,425,240
リース債務の返済による支出	△21,234	△29,484
配当金の支払額	△94,275	△93,915
その他	△10,080	△11,356
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268,282	△959,996
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△50,699	2,041,952
現金及び現金同等物の期首残高	1,030,547	705,400
現金及び現金同等物の四半期末残高	979,847	2,747,352

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日）及び前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

当社グループは、医薬品、化粧品、食料品及び日用雑貨等生活関連商品を扱う小売業を専ら営んでおり、単一セグメントであるため、事業の種類別セグメントは記載していません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間（自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日）及び前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間（自 平成22年9月1日 至 平成22年11月30日）及び前第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日）及び当第3四半期連結会計期間（自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日）

当社グループは、医薬品、化粧品、食料品及び日用雑貨等生活関連商品を扱う小売業を専ら営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

①仕入実績

当第3四半期連結累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		前年同期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ヘルスケア	6,868,870	27.3	6,627,393	25.6	△3.5
ビューティケア	4,925,714	19.6	4,805,690	18.5	△2.4
ホームケア	3,133,308	12.4	3,338,847	12.9	+6.6
コンビニエンスケア	10,239,810	40.7	11,156,018	43.0	+8.9
合計	25,167,704	100.0	25,927,949	100.0	+3.0

②販売実績

イ. 部門別販売実績

当第3四半期連結累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		前年同期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
ヘルスケア	9,411,556	29.7	9,775,211	28.6	+3.9
ビューティケア	6,550,521	20.6	6,803,539	19.9	+3.9
ホームケア	3,714,114	11.7	4,254,557	12.4	+14.6
コンビニエンスケア	12,047,803	38.0	13,398,750	39.1	+11.2
合計	31,723,996	100.0	34,232,058	100.0	+7.9

ロ. 地域別販売実績

当第3四半期連結累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		前年同期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
青森県	4,074,989	12.8	4,170,992	12.2	+2.4
秋田県	3,563,916	11.2	3,847,238	11.2	+7.9
岩手県	17,272,219	54.5	18,124,872	53.0	+4.9
宮城県	6,598,082	20.8	7,640,544	22.3	+15.8
山形県	214,788	0.7	448,411	1.3	+108.8
合計	31,723,996	100.0	34,232,058	100.0	+7.9